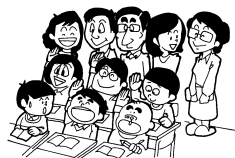


研修だより



第 4 号
平成 23 年 9 月 29 日

研 修 部

2次案内の締め切りまで約1か月となりました。いよいよ、全国大会の足音がひたひたと聞こえだし始めました。先日、校務事務さんが、台風の余波で風も強く雨も時々降る日、体育館の壁と窓枠を高圧ホースを使って清掃してくださっていました。蜘蛛の巣もとれ、壁もその色を取り戻し、窓枠から土汚れがすっかりとれていることにお気づきでしょうか。「きれいな学校でお迎えしたい。」という校務事務さんの気持ちに頭が下がるとともに、そんな気持ちで全国大会の参加者のみなさんを、みんなでお迎えしたいと思います。

さて、貴重な10月の校内研修の時間を、9月の企画会で5日・11日・26日の3回いただけることになりました。その時間を有効に、そして大会前日までの準備を万全にするために、10月5日の校内研修の日程の案を事前に提示させていただきます。各係や担当でご準備や事前にご意見等を練っておいていただけると、効率よく仕事が進むものと思います。

10月5日水曜日 校内研修…16:30から職員連絡会（それまでに終了）

時間	研修のスタイル	内容及びお願い
15:10～	学年研修	1学期の各学年の授業公開を伴う研修が10月に集中していました。大会当日に向けて、学年で事前に授業等を行う日時等（できるだけ具体的に）の計画を立ててご報告ください。なしの学年・専科・支援学級は、今後の予定が立ちましたらご計画ください。
15:50～	(前日じゅんぴまでの) 係会議	大会総務部からの提案された「仕事の分担の内容の確認」と「今後の活動の計画」を責任者を中心に確認してください。
15:50～	授業提案者の打ち合わせ	県下の先生からの依頼や事前授業等の打ち合わせと指導案について

元気で
大きな

声

「そよげ風」から

(前文省略) 市長さんが「みんな夏休み疲れなのか元気がないね。もっと大きな声で発言するといいね。」とおっしゃいました。確かに後ろで聞いていてもほとんどの子供が良いことを言っているのに発言内容が聞き取れず何度も聞き返される場面がありました。参観なさっていた保護者の方も同感の様でした。

(中略) コミュニケーションの第一歩は声を発すること、自分の思いを身体で表現することから始まります。だから挨拶をしようと指導しています。その挨拶も相手に届かなければ価値が薄まります。だからその場にあった声の大きさが必要なのです。国際化の中で堂々と諸外国の人とも接することのできる日本人の育成をめざして本校では「自分の思いや考えをもち、学び合いを通して深い読み取りのできる子供の育成 ～伝え合い高まり合う授業を創る～」を研究テーマとしています。国語の教科を通して、主体的に学び、たくましく生きる子供を育てるために、我々教師は何をしたらよいかを追求しています。(中略) 競い合いたいのは子供たちの活躍です。自分の考えをしっかりと持って場にあった声の大きさと堂々と意見を述べ合い、知恵を獲得していく姿を示したいと思っています。

私だけの悩みのひとつ…かな？

いい意見を言っているのに声が小さい。「聞こえません。」と友達から言われると、言わなくなる。授業参観される人が増えれば増えるほど、声のボリュームは絞られてしまいそう。不安、あせり…。今、私たちがつけなくてはいけない指導力、今子供たちにつけてやりたい力…あと2ヶ月 がんばりましょう！